Social Impact Day 2019

社会的インパクト・マネジメントの世界の最新動向と実践事例

主催：社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ、社会的投資推進財団
後援：笹川平和財団
助成：日本財団

プログラム

13:00　オープニング
青柳 光昌氏　社会的投資推進財団　代表理事

13:05　基調講演
クララ・バービー氏　Impact Management Project, Chief Executive

14:05　質疑応答

14:20　休憩

14:40　社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 2018年度事業報告と2019年度事業計画
鴨崎 貴泰氏　日本ファンドレイジング協会 常務理事兼事務局長

15:00　インパクト・マネジメント・アワードについて
高木 麻美氏　EY新日本有限責任監査法人　マネージャー

15:10　パネルディスカッション：社会的インパクト・マネジメントの事例紹介
幸地 正樹氏　ケイスリー株式会社 代表取締役
大久保 亮氏　株式会社Rehab for Japan 代表取締役
岩本 真実氏　K2インターナショナルグループ / NPO法人ヒューマンフェローシップ 代表理事
高塚 清佳氏　新生企業投資株式会社 シニアディレクター

16:30　閉会

＊本日の資料は、後日ウェブサイトに掲載を予定しております。
SIMIウェブサイト：http://www.impactmeasurement.jp/

SIMI 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ Social Impact Management Initiative　SIIF Social Impact Investment Foundation　Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

クララ・バービー氏（Ms. Clara Barby）

Impact Management Project, Chief Executive

Impact Management Project（IMP）のChief Executive。元Bridgesでインパクト投資の戦略立案に携わる。また、Acumen Capital Marketでインパクト投資設計に携わった実績を持つ。
IMP（https://impactmanagementproject.com/）は、国連開発計画（UNDP）、国際金融公社（IFC）、経済協力開発機構（OECD）、国連責任投資原則（PRI）等が参画する社会的インパクト・マネジメントに関する国際イニシアティブ。

Clara is currently serving as Chief Executive of the Impact Management Project (IMP): a forum for building global consensus on how to measure and manage impact. Clara was previously a Partner at Bridges Fund Management, where she led Bridges' impact strategy throughout the investment cycle and across all fund types. In addition to growing impact through Bridges' own funds, Clara also led Bridges' research and development efforts to promote the growth of the wider sustainable and impact investment industry.

Prior to Bridges, Clara focused her career on investing in innovative high-impact businesses ? most recently on the management team of an India-based healthcare chain and Acumen portfolio company. Clara previously worked for Acumen's Capital Markets team in New York where she played a lead role in designing an innovative investment vehicle and later co-led the Acumen energy portfolio in India.

Clara holds a BA (Hons) in Greats from Oxford University and an MBA from INSEAD.

鴨崎　貴泰
日本ファンドレイジング協会　常務理事兼
事務局長 /社会的インパクトセンター長

千葉大学園芸学部緑地環境学科卒業。グロービス経営大学院卒業（MBA）。
環境コンサルティング会社を経て、2009年公益財団法人信頼資本財団に設立時より参画し事務局長を務め、社会起業家に対する無利子・無担保融資事業やNPOのファンドレイジング支援事業を行う。2013年に信頼資本財団を退職後、2014年NPO法人日本ファンドレイジング協会へ入職し、現在に至る。
SIBの日本導入やSROIによる社会的インパクト評価などに従事。他、平成27年度共助社会づくり懇談会社会的インパクト評価ワーキング・グループのアドバイザーを務める。

高木　麻美
EY新日本有限責任監査法人
マネージャー

早稲田大学政治経済学部卒業。米国ワシントン大学行政経営大学院修士課程修了（MPA）。PwCコンサルティング株式会社、ベイン・アンド・カンパニー、三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社を経て、EY新日本有限責任監査法人に参画。国際大学大学院国際関係学研究科非常勤講師（2011-2018）。民間企業の戦略策定支援の他、M&Aや企業再生支援の経験を多数有する。また、公共経営をテーマとした調査研究やコンサルティングを行っている。近年の関心領域はエビデンスの活用、社会的インパクト評価など。

幸地　正樹
ケイスリー株式会社
代表取締役

大学卒業後、PwCコンサルティング合同会社へ入社。主に中央省庁や地方自治体など官公庁に対する戦略策定支援、予算評価や調達・事業者評価支援等の業務に10年従事。ソーシャル・インパクト・ボンド等の成果連動型委託契約や社会的インパクト・マネジメントなど、成果向上に向けた手法の研究・導入支援を行うケイスリー株式会社を2016年に設立。琉球大学非常勤講師、IMP（Impact Management Project）戦略パートナー、GSG（Global Social Impact Investment Steering Group）国内諮問委員会事務局、社会的インパクト評価イニシアチブ共同事務局。

大久保　亮
株式会社Rehab for Japan
代表取締役

作業療法士。政策学修士（CSR専攻）。在宅介護（デイサービス・訪問看護）や救急医療機関など現場経験をした後、株式会社Rehab for JAPANを創業。主な書籍として『幸せな職場の作り方』ラグーナ出版、2014（共著)などがある。法政大学大学院卒業。

岩本　真実
K2インターナショナルグループ /
NPO法人ヒューマンフェローシップ 代表理事

1994年～ボランティアとしてK2に参加。不登校引きこもりの子ども達と共同生活・働く場づくりに関わる。2005年より高校連携を模索。現在は神奈川県内で10校以上の高校と連携。日本の若者支援のトップリーダーとして活躍。
日経ウーマンオブザイヤー2008受賞。人間力大賞2010受賞。子ども・若者生活困窮支援のあり方に関する研究委員会委員(2012)等

高塚　清佳
新生企業投資株式会社
シニアディレクター

慶応義塾大学経済学部卒、ベルグラーノ大学国際政治経済修士課程。在日アルゼンチン大使館経済商務部勤務を経て、2004年より新生債権回収にてNPL回収の企画・運営。2005年よりドイツにて、新生銀行とドイツ２行とのJVサービサー設立。2007年より証券化組成、海外不動産ノンリコースローン、ベンチャー投資、PE・REファンド投資、オフショア子会社の取締役。2017年1月インパクト投資チーム設立。2019年6月、子育て・介護・新しい働き方関連事業へインパクト投資を行う日本インパクト投資2号を設立。

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブとは

世界に類を見ない急速な人口減少・高齢化が進展する中、社会的課題がますます多様化・複雑化しており、従来の行政中心の取組だけでは対応に限界があるといえます。それら社会的課題解決の担い手であるNPO/NGOやソーシャルビジネス等が、自らの生み出す「社会的な価値」＝「社会的インパクト」を可視化することで、資金のみならず、意欲や知識・技術を有する人材等の資源を呼び込み、課題解決のための新たなイノベーションを行う必要があります。

そこで、日本において社会的インパクト評価を推進するために、社会的インパクト評価の現状や課題、将来目指す姿やそれに向けた取組などについて議論し、実行を主導するプラットフォームとして「社会的インパクト評価イニシアチブ」（Social Impact Measurement Initiative) が、2016年6月に設立され、2019年に社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブに名称を変更しました。

本イニシアチブでは、民間事業者、シンクタンク、中間支援組織、資金提供者、研究者、行政など様々な分野の人々が連携して、日本全体として「社会的インパクト評価」を普及させるための具体的なアクションを行っています。19年3月31日現在、163団体が参加しています。

欧米では、単にインパクトを評価するだけでなく、インパクト志向の経営を行う（Impact Management)、インパクトを最大化する（Impact Maximization) 方向にシフトしつつあります。こうした欧米の最新動向も踏まえて、日本のアクションを考えていきたいと思います。

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブのWebサイト
http://www.impactmeasurement.jp